

様式 2

附属機関等の名称 会議概要

1	審議会名.....平成27年度.....第2回安曇野市介護保険等運営協議会.....
2	日.....時.....平成28年1月22日(金).....午後1時00分から午後2時30分まで.....
3	会.....場.....安曇野市役所.....共用会議室306.....
4	出席者.....中島会長、高山副会長、山田(修)委員、松井委員、若宮委員、池田委員、..... 堀内委員、小幡委員、細萱委員、藤森委員、山田(き)委員.....
5	市側出席者.....宮下保健医療部長..... 藤原課長補佐(福祉部.....長寿社会課)..... 場々課長、古畑課長補佐、新保係長、木村係長、西澤係長、..... 齋藤主任、山崎主事(保健医療部.....介護保険課).....
6	公開・非公開の別.....公開.....
7	傍聴人.....1人.....記者.....1人.....
8	会議概要作成年月日.....平成28年1月22日.....
協 議 事 項 等	
1	<p>会議の概要</p> <p>(1) 開 会 (場々課長)</p> <p>(2) あいさつ (宮下部長、中島会長)</p> <p>(3) 第5期介護保険事業計画の事業報告及び第6期介護保険事業計画の実施状況について</p> <p>① 老人福祉計画の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立した生活を支援するサービスの提供 ・高齢者の居住・生活環境の整備 ・高齢者の生きがいがづくり・社会参加の支援 <p>② 地域支援事業の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防事業 <ul style="list-style-type: none"> ・二次予防事業の対象者把握 ・一次予防事業、二次予防事業 ○包括的支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアマネジメント業務 ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ・地域ケア会議の実施 ・関係機関及び地域との連携活動 ○任意事業 <p>③ 介護保険の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の状況 ・前期・後期高齢者の割合 ・要介護認定者数 ・第1号被保険者の介護保険料 ・介護サービス費給付の状況 ・居宅サービスの利用状況 ・地域密着型サービスの利用状況 ・施設サービスの利用状況 ・介護保険給付額の推移 ・介護保険給付の推移 ・施設サービス利用者数 ・居住系サービスの利用者数 ・要介護2～5に対する施設及び介護専用居住系サービスの利用者割合 ・第5期計画値と実績の比較(認定者・サービス計画) ・平成24～26年度中の施設整備計画

(4) その他

- ① 安曇野市介護保険等運営協議会の条例による設置について
- ② 地域支え合いセンターの進捗状況について
- ③ 平成28年度以後 市が行う指定・指導監督事務について
- ④ 安曇野市介護保険等運営協議会委員の改選について
- (5) 閉会（高山副会長）

2 審議概要

(1) 第5期介護保険事業計画の事業報告及び第6期介護保険事業計画の実施状況について

① 老人福祉計画の実施状況について

【概要】（事務局より説明）

市内の高齢化率は、平成24年4月25.83%であったのが、平成27年3月末には28.71%となり、約3%増加。高齢化率の上昇とともに、在宅生活を支える様々な福祉サービスの需要性も増し、高齢者のニーズに応じた様々なサービスに計画数値を掲げ実施してきた。

とりわけ、「緊急通報装置」や「配食サービス」は計画数値に満たないまでも多くの利用があり、独居高齢者や高齢者のみの世帯の安否を確認する効果的なサービス事業となった。

② 地域支援事業の実施状況について

【概要】（事務局より説明）

第5期介護保険事業計画の実施状況については、地域支援事業の介護予防事業・包括的支援事業・任意事業とも、ほぼ計画通りに事業を行った。

地域包括ケアについては、平成26年度に「安曇野市地域包括ケア推進会議」を立ち上げ、「安曇野市地域ケア会議体制」を構築し、さらに医療と介護の連携を図り、認知症施策にも取り組んだ。

平成27年度については、介護保険制度改正により、包括的支援事業に地域包括ケア推進のための4事業（①在宅医療・介護連携推進事業②生活支援体制整備事業③認知症施策推進事業④地域ケア会議推進事業）が、新たに位置づけられた。「安曇野市地域包括ケア推進会議」を中心とした「安曇野市地域ケア会議体制」に基づき、関係機関との連携を図りながら進めていく。

【質疑】

（藤森委員） 安曇野市の地域包括支援センターにおける問題として量と質の問題がある。

まず、量の問題であるが、人口規模が同等の埼玉県和光市には、地域包括支援センターが5つある。安曇野市の東部包括支援センターが平成28年4月から中央地域包括支援センターに名称を変更するため、安曇野市も地域包括支援センターが堀金地区、明科地区と増えるかと思ったが、そういうことではないのか。

質の問題については、包括では権利擁護にも取り組んでいるが、先日デイサービス利用者へお金を届けに来てくれたある職員は、午睡の時間に訪ねてこられた。寝起きということもあり、訪ねる時間を検討してほしい。そういう職員へ包括が教育することで、質への対応をしてほしい。

（会長） ご意見として承っておきます。

③ 介護保険の実施状況について

【概要】（事務局より説明）

・市の高齢化率は右肩上がりとなっており、平成23年度から毎年約1%ずつ上昇していたが、平成27年度は0.7%とやや鈍化した。高齢者人口を前期高齢者と後期高齢者に分けて比較すると、平成26・27年度においては、前期高齢者の割合が増えている。これは団塊の世代が65歳を迎えたことにより、前期高齢者人口が増えたためと考えられる。

・認定者数を平成14年度と平成26年度で比較すると、1.95倍に増加している。平成26年度は認定者数の中でも要支援者の割合が26.5%となっており、県内数値（24.5%）より2.0%高くなっている。また、重度者（要介護度4・5）の占める割合は25.4%であり、県内数値24.9%とほぼ同程度になっている。

・第1号被保険者の介護保険料基準額の5,400円は、県内平均5,399円とほぼ同額である。

・安曇野市の介護保険の年間給付総額は、平成26年度で約75億円となり、合併時の約48億円から約27億円増加しており、9年間で約57%増加。また、居宅サービス・地域密着型介護サービス・施設介護サービスで、合併時と給付費の比較をすると、全てのサービスで増加しているが、サービスごとの給付額の割合では、地域密着型介護サービスが増加し、施設介護サービス

の割合は減少傾向となっている。

- ・第5期計画値と実績の給付費比較については、平成24～26年度全て計画値より下回った。保険料との差については、毎年基金に積み立てを行っている。
- ・平成24～26年度中の施設整備計画については、平成24～26年度の間に全て整備済となっている。

(2) その他

① 安曇野市介護保険等運営協議会の条例による設置について

【概要】(事務局より説明)

介護保険等運営協議会は介護保険法において、設置義務は明記されていないため、これまで要綱による設置をしてきたが、市の方針で条例による設置をする方向で話が進んでいる。

② 地域支え合いセンターの進捗状況について

【概要】(事務局より説明)

第1回介護保険等運営協議会で選考していただいた地域支え合いセンターであるが、H27.12月に整備事業者が建設に着工し、H28.3月中旬には完成予定との報告を受けている。

③ 平成28年度以後 市が行う指定・指導監督事務について

【概要】(事務局より説明)

小規模な通所介護の指定が県から市へ権限移譲となるため、来年度以降も当協議会のお力添えをいただきたい。

【質疑】

(藤森委員) 指定の事務が今後は倍以上となるが、今の人員配置で間に合うのか。

(事務局) 間に合わせていく。

(藤森委員) 指定には波があるはず。年度末だけ乗り切ればいいという考え方もある。

④ 安曇野市介護保険等運営協議会委員の改選について

【概要】(事務局より説明)

当運営協議会の委員任期は2年であるため、次期委員の推薦を各団体からいただきたい。委員については、再任を妨げないことになっているので、推薦があった場合には、2期目としてお力添えをいただきたい。